

特性に応じた学び方を身に付ける

令和3年度（2021年度）知的障がい教育室

本道における知的障がい教育の充実を目指し、教員の指導力の向上を図るため、参考となる資料を作成しました。今号は、知的障がい特別支援学校の各教科等の特徴と、評価の在り方について理解するための内容としましたので、参考にしてください。

□ 知的障がい特別支援学校の各教科等の特徴

知的障がいの特性

知的障がいのある児童生徒は、小・中学校の教科をそのまま指導したり、系統性を重視したりしていくと、学習したことが生活に結び付かなくなり、断片的な知識となりやすい特性があります。

各教科等

自立活動の要素

各教科等の内容には、自立活動の要素が位置付けられている。

（前略）知的障害の特徴及び適応行動の困難さ等を踏まえ、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の小学部及び中学部の各教科等については、（中略）、その種類を規定している。

〔特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）〕

□ 「観点別学習状況の評価」の在り方

各教科等の目標や内容は「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱で再整理されたことから、学習評価に当たっても、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の「評価の観点」に基づいて評価を行います。

学習目標

（例）小学部 2段階 書くこと
イ 文字の大きさを意識して、枠からはみ出さずに、文字を書くことができる。

知識及び技能

学習内容

（例）イラストを頼りにしながら、見本をよく見て、枠からはみ出さずに文字を書く。



学習評価

（例）見本の文字を何度も確認し、好きなキャラクターの名前であることを意識して、枠から大きくはみ出すことなく書くことができました。

評価の観点

知識・技能

《ここをチェック》

学習評価は、教師の指導改善だけでなく、児童生徒の学習改善につながるものにすることが大切です。



北海道立特別支援教育センター

〒064-0944 札幌市中央区円山西町2丁目1-1 (011)612-6211